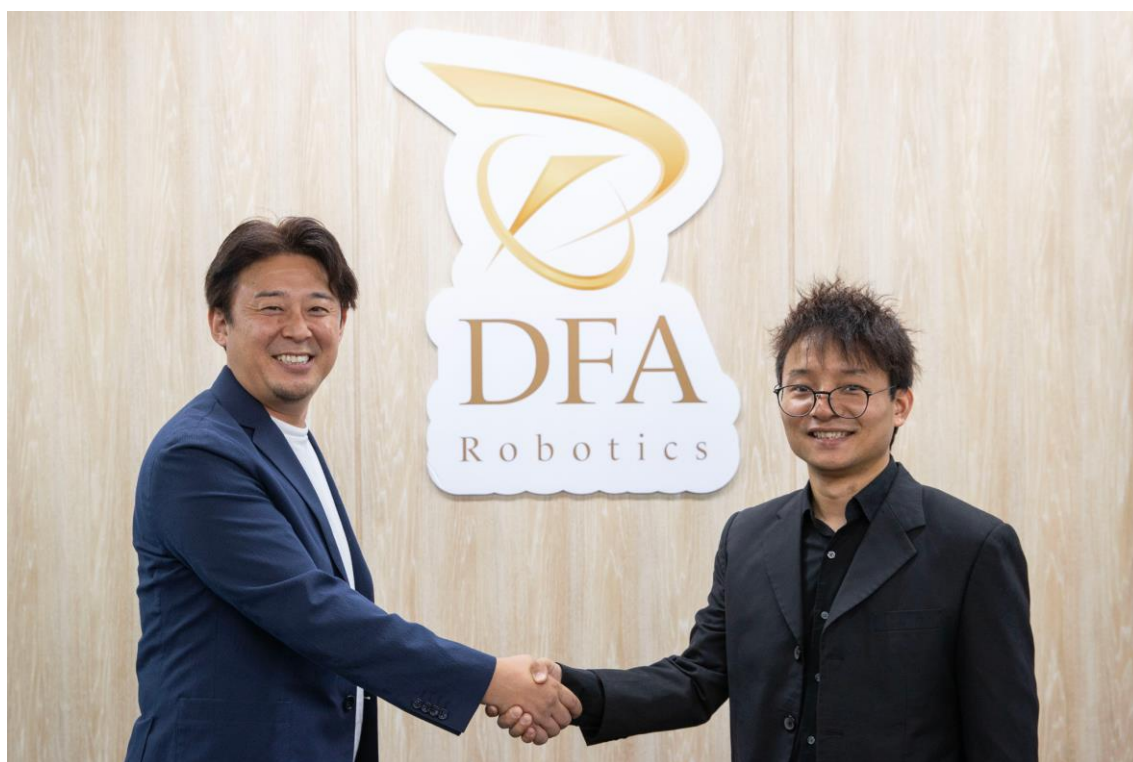


8月8日（火）
Pudu Robotics Japan 株式会社

**Pudu Robotics Japan、DFA Robotics 共同で、
ロボットを活用した日本の飲食店オペレーションにおける最適化を目指す
「おもてなし RX®プロジェクト」を始動**

Pudu Robotics Japan 株式会社（本社：中国深セン、日本法人 Pudu Robotics Japan 株式会社 代表取締役社長：張涛）は、提携企業の飲食店 DX を推進するロボティクスソリューションカンパニーである株式会社 DFA Robotics（本社：東京都渋谷区 代表取締役社長：波多野昌昭）とともに、各々の技術を活用した国内店舗のオペレーションを最適化する「おもてなし RX®プロジェクト」を始動いたします。Pudu Robotics Japan の持つ最新のロボット技術と、DFA Robotics の持つ日本の店舗におけるロボット導入の知見を掛け合わせ、優れたサービスを提供するために、両社の専門知識とリソースを結集し、本プロジェクトを推進してまいります。



■ 国内の飲食店が直面している店舗運営の実態

2030年、日本の労働需給は644万人不足すると推計されており、特にサービス産業においては400万人の不足が見込まれています（※）。

飲食店の経営においても例外ではなく、多くの飲食店は採用難や、人件費の高騰に直面しています。アルバイトスタッフに依存するのではなく、自動オーダータブレットやロボットの導入に積極投資を行い、店舗運営の効率化を目指すケースも増えています。

一方で、日本の飲食店を取り巻く環境を鑑みると、日本の顧客は、世界でもトップクラスのサービスクオリティを求め、そのサービスクオリティが各飲食店の差別化の要因となっていることもまた事実です。私たちは、このような国内の飲食店が抱える店舗運営の課題を解決し、求められているサービスクオリティを担保できる環境づくりに寄与するプロジェクトとして、「おもてなし RX プロジェクト」を始動いたします。

※参照：パーソル総合研究所・中央大学「労働市場の未来推計 2030

■「おもてなし RX®プロジェクト」について

おもてなし RX®（ロボティクストランスフォーメーション）は、株式会社 DFA Robotics の登録商標です。（登録番号第 6701381 号）

おもてなし RX®プロジェクトは、国内 3,250 台のロボットを導入し、飲食店の課題を現場で解決してきた DFA Robotics と、ネコ型配膳ロボット「BellaBot（ベラボット）」の開発等を通じ、人とロボットの共存を推進してきた Pudu Robotics Japan がタッグを組み、国内の飲食店において最適化されたロボットオペレーションを研究開発するプロジェクトです。

■「おもてなし RX®プロジェクト」取り組み内容



日本の飲食店における課題

- ・ 深刻な人手不足により、採用難や人件費の高騰に直面。
- ・ 一方で引き続き高いサービスが求められている。

おもてなし RXプロジェクト



- ・ 人とのコミュニケーションに寄り添ったロボット開発
- ・ 店舗でも簡単に使いこなせる設計
- ・ 日本のオペレーション設計に合わせた柔軟な開発力



- ・ 日本トップクラスのサービスロボット導入実績
- ・ 日本の飲食店に寄り添った店舗オペレーション提案力

おもてなしを日本の店舗に最適化した
ロボットオペレーションを共同で研究開発

■プロジェクトが目指すこと

・サービスロボットの導入による「おもてなし」の追求

ロボットを導入することで、今まで同様、またはそれ以上のおもてなしを実現できるようなロボット開発・機能開発を実施いたします。お客様や、従業員の皆様から愛されるロボットの開発により、ロボット導入店舗がより「おもてなし」を追求できる環境づくりに寄与します。

・国内の飲食店舗に特化したロボットオペレーションの確立

昨今、多くの店舗で活用いただいているサービスロボットですが、まだまだロボットを活用した効率化の余地があります。飲食店舗が利用しているシステムと、ロボットの連携活用や、ロボットから日々取得される走行データ・配膳データを活用し、国内の飲食店舗に特化したロボットの活用方法を確立するため、検討いたします。

・店舗レイアウトに合わせたロボットの設置・導入提案

店内が狭く小規模で、段差も多いという特徴のある日本の飲食店において、サービスロボットはまだ限定的な導入にとどまっています。DFA Robotics が蓄積した店舗への導入ノウハウと、Pudu Robotics Japan が持つ開発力を駆使して、日本の店舗レイアウトに最適化されたロボットの共同開発を目指します。

■ Pudu Robotics について

Pudu Robotics は 2016 年に深セン設立以来、常に「発明の精神」を守り、「顧客第一」の社内文化を実践し、ロボットの力で生産性と福祉を向上させることを目指しています。R&D に多額の投資を行っており、研究開発スタッフが 50%を占めています。800 件以上の特許を取得し、最高水準の配膳ロボット、配送ロボット、Ad ディスプレイを搭載した配膳 & 案内ロボットを開発してきました。これらのロボットは、レストラン、病院、学校、オフィスビル、官公庁、地下鉄駅、待合室などで幅広く使用されています。これからも、全世界のお客様に全面的なサービスロボットソリューションのご提案に取り組んでまいります。

「BellaBot」は同社最大のヒット商品となり、PUDU が提供する全 10 製品の売上高の中で、グローバルでは「BellaBot」が 40%以上、日本一国では 50%以上を占めています。創業 7 年で世界中にサービス拠点を設置、全 10 製品のグローバル累計出荷台数は 6 万台を超えるなど、商用サービスロボット分野でグローバルリーダーに上り詰めています。

【会社概要】

社名：Pudu Robotics Japan 株式会社

所在地：東京都中央区入船 1 丁目 9-8 ビエノーク入船 8F

設立：2021 年 7 月

事業内容：サービスロボットの開発・設計・製造・販売

会社 HP：<https://www.pudurobotics.com/jp>

■ DFA Robotics について

DFA Robotics は「次世代の社会インフラの創造」をビジョンに掲げ、最先端ロボティクスを社会実装し、世界中の「ヒト」と「ビジネス」の価値を向上させる未来を目指す、ロボティクスソリューションカンパニーです。当社は、人口減少・高齢化が進む社会の中でロボットが「人の仕事を奪う」のではなく、「人の可能性を伸ばす」存在と位置づけ、社会課題に対する「ロボティクスソリューション」を提供しております。

2021年11月より本格的に配膳ロボット事業へ参入し、約1年間（※）で3,250台以上の配膳ロボットを全国に導入しました。DFA Robotics のロボットサポート拠点は全国140箇所以上にあり、地域に根付いた導入提案やアフターサポートの体制構築を迅速に行っております。2023年4月には、国内で初めて Pudu Robotics 社製 1台4役の清掃ロボット「PUDUCC1」をホテルへ導入いたしました。豊富な知見とロボット導入店舗へのサポート力により、多くの企業様から導入のご依頼をいただいております。

※2021年11月1日～2022年12月31日

【会社概要】

株式会社 DFA Robotics

所在地：東京都渋谷区恵比寿 1-18-18 東急不動産恵比寿ビル 4階

設立：2017年9月

事業内容：配膳・運搬・清掃などを担うサービスロボットの輸入、販売、導入支援、アフターフォロー等

会社 HP：<https://dfarobotics.com/>